

地域連携だより



第19号

Face to Face



役職等はすべて取材日時点のものです。

【チームかまいし支援事業】第 16 回釜石医師会学術講演会 「緩和ケア－最近の話題－」が開催されました

3月10日、ホテルサンルート釜石を会場に、平成27年度「緩和ケア医療講習会」兼第16回「釜石医師会学術講演会」が開催されました。この講演会は、チームかまいし支援事業として、釜石医師会、釜石歯科医師会、釜石薬剤師会、釜石市の共催により実施されたものです。

今回の講演は、「緩和ケア－最近の話題－」をテーマに、岩手医科大学緩和医療学科特任教授の木村祐輔医師を講師に、岩手県立釜石病院副院長兼外科長の小原真医師を座長に迎えて開かれ、70名を超える多職種が参加しました。

講演では、岩手県・岩手医科大学附属病院の緩和ケアチームの取り組みに関することや、緩和ケアが主に終末期医療において果たしている役割などが示されました。今回の講演で特徴的だった点は、国内外のさまざまなデータが資料により提示されていたことです。具体的なデータを示して緩和ケアの医学的な立ち居地やメリットが説明されることで、理論的にも納得したうえで緩和ケアに取り組むことができる素地を育む講演内容となりました。

また、緩和ケアから看取りの段階でかかる治療医（主治医）への強いストレスについても触れられ、緩和ケアチームは患者・家族を支援するとともに、主治医の迷いや悩みにも配慮する必要性があることが述べられました。患者とその家族を中心に、医療従事者など関わる全ての人の肉体的・精神的な負担を軽減できる可能性が緩和ケアにはあると感じられる講演会でした。



さまざまな職種が集まりました



講師の木村医師



座長の小原医師

4月21日、釜石市長室において、特定非営利活動法人（NPO法人）設立認証書交付式が執り行われました。これは、前号の地域連携だよりでお知らせした、かまいし・おおつち医療情報ネットワークシステム（通称・OKはまゆりネット）を運営するNPO団体「特定非営利活動法人 釜石・大槌地域医療連携推進協議会」の設立を承認する式となり、この日をもってNPO法人としての活動がスタートすることとなりました。

当日は、釜石市長をはじめ、市の関係部局の職員や釜石保健所職員らが会場に集い、認証書の交付に立ち会いました。また、新聞等のマスコミ各社の取材もあり、市内で16番目に認証されたNPO団体となる当法人と、その活動に対する関心の高さがうかがえました。

今後、当法人では、OKはまゆりネットの構築・運営に関する業務等に従事する専任スタッフを雇用し、釜石・大槌地域の住民がより良い保健・医療・福祉・介護サービスを受用できるような環境基盤づくりに取り組んでいきます。



認証書が交付されました！



今後の展開に向けて協議を重ねます

ケアカフェ釜石に遊びに来ませんか？

「ケア・カフェ」は、まったく新しいコンセプトで行われる、ケア提供者の集まりです。ジャズの流れるカフェのような雰囲気の中、会話を楽しみながら、顔の見える関係づくりと日頃の悩みの解決を目指します。

このたび第5回目となる「ケアカフェ釜石」の開催が決定しました。テーマを「住」とした今回のケアカフェ釜石は、室内を飛び出し、三陸鉄道の車内での開催となります。これまで参加したことのある人はもちろん、まだ未経験の人も、この機会にぜひご参加ください。

- ◆日時 2016年8月7日（日）／ 集合 11:30、出発 12:00
- ◆会場 三陸鉄道
- ◆参加料 3,000円（弁当代込み）
- ◆対象者 どなたでも
- ◆申込み 下記アドレスまでメールでお申し込みください。

kono1tounikakeropapi@gmail.com（ケアカフェ釜石店長 嶋岡さん）

- ◆持ち物 ネームプレート、お菓子（200円以内）



【問い合わせ】ケアカフェ釜石実行委員会 <https://www.facebook.com/carecafe.kamaishi>

3月16日、釜石医師会館において、平成27年度第10回認知症勉強会が開催されました。この勉強会は、釜石医師会認知症対策部会長である濱登文寿医師（はまと神経内科クリニック）が2014年度に始めたもので、今回で通算23回目の開催となりました。対象者は主に介護職で、これまでのべ100名を超える方が参加しています。

認知症の種類や諸症状が説明された「初級編」、認知症の人や家族が抱える社会的問題を取りあげた「中級編」を経て開催された今回の「上級編」勉強会では、「認知症患者の自動車運転」をテーマに、認知症患者とその家族が実際に社会の中でどのような問題に直面しているのか、スライドを見ながら症例検討を行いました。今回の参加者は9名で、ほとんどの方が介護施設に勤務しており、症例検討では実際に経験した事例を元に意見を重ねました。

2025年には認知症患者が700万人を超え、認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）を加えると約1,300万人に上ると推計されています。65歳以上の3人に1人が認知症患者とその予備軍となると予測される中、現在の高齢化率が36.1%の釜石市にとっても認知症対策は喫緊の課題となっています。「認知症が風邪と同じような common diseases（一般的な病気）となるように」続けられる予定の勉強会に、今後も多くの方が参加され、認知症に対する理解と議論が深まることが期待されます。



わかりやすい言葉で伝える濱登先生



職種を超えて学びを重ねます

かかりつけ医認知症対応力向上研修会が開催されました

2月24日、ホテルサンルート釜石において、釜石医師会等が主催する、平成27年度「かかりつけ医認知症対応力向上研修会」兼「第14回釜石医師会学術講演会」が開催されました。岩手医科大学内科学講座神経内科・老年科の赤坂博助教が講師を、はまと神経内科クリニックの濱登文寿院長が座長を務め、当日は、医師など医療職のほか、介護職、行政職など多職種が集まりました。

講演では、現在県内2カ所に設置されている岩手県認知症疾患医療センターの詳細や、釜石圏域からも6年間で31例の相談があったというセンター利用者の傾向分析などを中心に、盛岡圏域で行われている認知症対策や多職種連携についても話が及びました。一人の患者を診る場合でも職種によって視点が違うことを理解し、それを踏まえて活動することが、認知症という「地域を含めての連携」が重要とされる疾患では必要となることが示されました。



赤坂助教の講演

◆釜石に開院した理由は。

もともと関東中心に勤めていて、東北に縁はありませんでしたが、子育てにいい環境を探して移住しました。県立遠野病院にも勤め、ゆくゆくは暖かい釜石に…と考えていましたが、釜石に越す直前に震災が起り、家は流され、一旦は離れました。その後、縁あってこの土地を見つけ、釜石のにぎわいの一助になりたいという思いもあり、開院に至りました。

遠野の自宅からの通勤は大変ですが、トンネルを抜けて見える釜石の景色は、季節の移り変わりによって毎日違いがあり、本当にいい環境だなあと感じています。

◆クリニックの概要を教えてください。

常勤医師 1 名、非常勤医師 1 名、看護師 4 名と、パートを含む事務職員 4 名が勤務しています。日中に受診できない方も来ていただけるよう、診療時間は 8 時から 20 時までとしています（月、水～金）。標榜科は内科、消化器科、脳神経外科、訪問診療科で、脳外科では毎週 1 回専門医に来ていただいています。CT やエコー、胃・大腸カメラも完備しています。小児患者も対応しており、初期の診断を行い、必要があれば紹介します。「苦痛を抱えている患者に寄り添いたい」という思いから、「いつでも・どこでも・すぐに」をモットーに、画像診断などの検査結果も当日中にお伝えします。

これから力を入れていきたいのは訪問診療です。24 時間体制でできるだけ患者さんに応えられるようにと思っています。介護力や経済力など様々な家庭の問題を抱えた患者さんを支え、住み慣れた町や家での暮らしをサポートできるよう、「町のお医者さん」として対応していきたいです。

◆多職種連携の状況は。

腰が痛むなど、患者さんからリハ的な要望があるときは、リハの先生を招いて指導していただいたりしていますが、その他の職種の皆さんとの連携はまだこれからです。今後は在宅看取りもしていきたいので訪問看護の皆さんとも連携できたらと思います。

◆多職種の皆さんに一言お願いします！

オープン後はバタバタしていて皆さんにご挨拶できず、また医師会の対応や勉強会などもなかなか参加できずにおりますが、地域の先生や医療機関、介護施設の皆さんと仲良くやっていきたいと思っています。何かありましたらお気軽にお声掛けください！



釜石しょうけいクリニック

【所在地】釜石市甲子町 10-268-1
Tel.27-8571 / 火・祝祭日・第 4 土日休診



左：正慶修院長 右：阿部順子看護師長



和気藹々とした雰囲気の皆さん

編集後記

岩手の春は遅いかわりに、わっと一斉に花開くと言われます。桃、梅、桜、椿、つつじ、木蓮、水仙、タンポポ、チューリップ、マーガレット…誰かが手入れしている花も、自然のまま咲く花も、すべて美しく目に映ります。梅雨もアジサイ等を楽しみに乗り切りたいですね(^-^)(N)

発行/在宅医療連携拠点チームかまいし

〒026-0025 釜石市大渡町3丁目15番26号

TEL 0193-55-4536 FAX 0193-22-6375

✉ zaitaku@team-kamaishi.jp

ウェブサイト <http://teamkamaishi.ec-net.jp>

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/teamkamaishi>